

「第2回旧検見川無線送信所の利活用に関するワークショップ」を開催します ～会場参加またはオンラインで参加いただける方を募集～

千葉市では、かつて日本最初の国際放送など無線史上で数多くの業績を残した旧検見川無線送信所の利活用に関する2回目のワークショップを開催しますので、お知らせします。

この度のワークショップは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会場開催に加えオンライン開催を併用して実施しますので、併せてお知らせします。

1 目的

参加対象者を市内全域に広げ、前回聴取した意見を掘り下げるとともに、利活用の方向性を踏まえた施設の保存・修復方法など文化財の取扱いについての考え方を整理していくことを目的とします。

2 日時

令和3年3月7日（日）13:00～16:45

3 場所

千葉ポートサイドタワー12階第1会議室（中央区問屋町1-35）

4 内容

- （1）地域の歴史や特徴などの紹介
- （2）意見交換会（グループごと）
- （3）ワークショップ参加者向けの施設見学会（2月27日（土）及び28日（日））
※新型コロナウイルス感染症の状況次第では、中止となる場合があります。

5 参加者の募集等（参加費無料）

- （1）対象者
市内在住、在勤、在学の方
- （2）定員
28名（参加者は公募により選定）
【内訳】
会場参加者 7名（1グループ）
オンライン参加者 21名（3グループ）
※新型コロナウイルス感染症の状況次第では、オンライン開催のみとする場合があります。
- （3）募集期間
令和2年2月1日（月）～2月15日（月）
- （4）申込方法
氏名、住所、年齢、性別、電話番号、職業、応募動機、参加方法（会場またはオンライン）を明記し、以下の宛先にメール、FAXまたは往復はがきでお申込みください。
【メール】kemigawa@takusho.co.jp
【FAX】043-309-2022
【住所】〒260-0045 中央区弁天2-20-20
株式会社拓匠開発
【申込フォーム】<https://forms.gle/tv7spL7u7JbNTBdp9>（2月1日より公開予定）

6 取材について

- (1) 当日の取材を希望される方は、3月5日（金）15時00分までに文化財課（245-5963）へご連絡ください。
- (2) 会場内では各社腕章等をご着用ください。

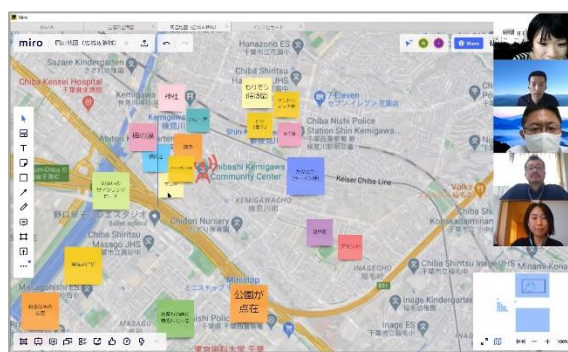
<参考>

1 第1回旧検見川無線送信所の利活用に関するワークショップ

- (1) 開催日
令和2年9月27日（日）13:30～17:30
- (2) 参加者
23名（オンライングループ：9名、会場グループ：14名）



前回の様子（会場グループ）



前回の様子（オンライングループ）

2 旧検見川無線送信所について

- (1) 施設概要
 - 開局：1926（大正15）年
 - 構造：鉄筋コンクリート造 地上2階建て塔屋付き（延床面積：1,374.93㎡）
 - 設計者：逓信省営繕課 吉田鉄郎（旧東京中央郵便局などの設計者）
- (2) 主な業績
 - 戦前は植民地通信、航空通信、標準電波の発射などを行い、戦後は警察無線、防衛庁回線、航空気象無線放送などの業務を担った。
 - 短波帯無線通信、無線電話実験など様々な先端技術の実験を行い、無線技術の発展に貢献し、日本初の国際放送の実現など無線通信史上、多くの業績を残した。



竣工時（1926（大正15）年）の様子



現在の様子